

2012年議会活動を 振り返って

川崎市議会議員 いわくま ちひろ



民主党川崎市議団 連載No.47

新たな年を迎えました。昨年は、総選挙の余波もあり、多事多端な中で新年を迎えることになりました。政権交代後、経済対策が連日報道されています。一刻も早い対策が望まれますが、どんなにお金を刷ろうとも、国民がお金を使う「気」にならないれば景気向上は困難です。では、なぜ国民がお金を使わないのか？それは、将来設計が不安だからです。その点において、先の総選挙において**社会保障**が争点の重要課題にならなかったことは極めて残念でした。

2012年・市議会本会議における質問要旨

3月議会

市営地下鉄事業の停止と会計清算(※1)
公立校における英語学習の充実
外国人観光客誘致推進事業

6月議会

東海道貨物支線の貨客併用化
市営地下鉄事業の停止と会計清算(※1)
総合都市交通計画
南武線輸送力向上・新型車両導入について(※1)

9月議会

いじめ対策と教育委員会のあり方
生活保護受給者への就労・就学事業(※2)

12月議会

久地かすみ堤防保全について
いのちの尊厳を育む教育
市職員OBの指定管理先への再就職問題(※3)

議会活動のライフワークでもある「**市営地下鉄事業の停止と会計清算**」については、行政側と5年以上にわたり激論を継続しています。市民にとって新たな負担となる総事業費4000億円以上必要な新規地下鉄事業は必要ない。鉄道網の整備であれば、既存路線の横浜市営地下鉄3号線延伸(あざみ野・新百合ヶ丘間)や古い車両を使い現在の6両編成の南武線に、新型車両を導入することで輸送人員の増強を図るべきなど、提言を続けています。(※1)

また、現在、最低賃金で働くよりも扶助の多い生活保護については、**若年層の脱・生活保護施策が必要**です。人的資源に投資し、トレーニング(教育)して就労に結びつけるような施策を求めます。(※2)

議会活動のライフワークでもある「**市職員OBの天下りではないか?**」と疑われる指定管理者先への再就職についてもメスを入れています。自らの専門性を活かすことは否定しませんが、市の業務を請け負う指定管理者へ市職員OBが再就職することは、疑義が生じます。完全なる透明性と情報公開を行政に徹底させていきます。(※3)

私たち市民の代表である議会議員の役割は、公務員たる役人さんたちの政策や施策をきちんとチェックし、サポートするところは応援する、ダメなところは修正する、単なる行政の追認機関であってはなりません。

今年のNHK大河ドラマ、会津藩の教えではありませんが「**ならぬことはならぬ**」という姿勢を本年も通じて参りたいと考えています。

いわくま ちひろ プロフィール

昭和50年2月26日生まれ ●成人して一週間目にカバンひとつで海外修行に出る。●奨学金を受けながら、英国国立ウェールズ大学卒業。英国国立ロンドン大学大学院研究生・専攻は国際政治学 ●海外在住約8年 ●海外から日本を見て「教育」や「社会」に危機感を覚え政治の道を決意する。 ●衆議院議員秘書 ●公立中学校英語教育アドバイザー・英語講師。FMラジオパーソナリティ。

★いつも、ご一読いただきありがとうございます m(_ _)m★

ご意見・ご要望お待ちしております!

e-mail
chihiro1890@yahoo.co.jp
FAX
044-750-0331

